

ミャンマー連邦共和国「IoT・AI等の最新技術を用いた 発電設備の維持管理に係る情報収集・確認調査」の概要

【業務概要】

体制：関西電力、MHPSによる共同実施

対象地域：ミャンマー連邦共和国
ヤンゴン近郊の火力発電所5ヶ所
マンダレー管区の水力発電所1ヶ所

期間：2018年7月～2019年7月（約1年間）

業務内容：・火力発電所および水力発電所の運営・維持管理の現状調査
・IoT・AI等および本邦技術を活用した運営・維持管理に関連する技術提案の策定
・発電設備の運用および組織体制の観点からの設備保全向上に関連する技術提案の策定
・本邦中小企業の有する技術の導入可能性検討および導入方法提案

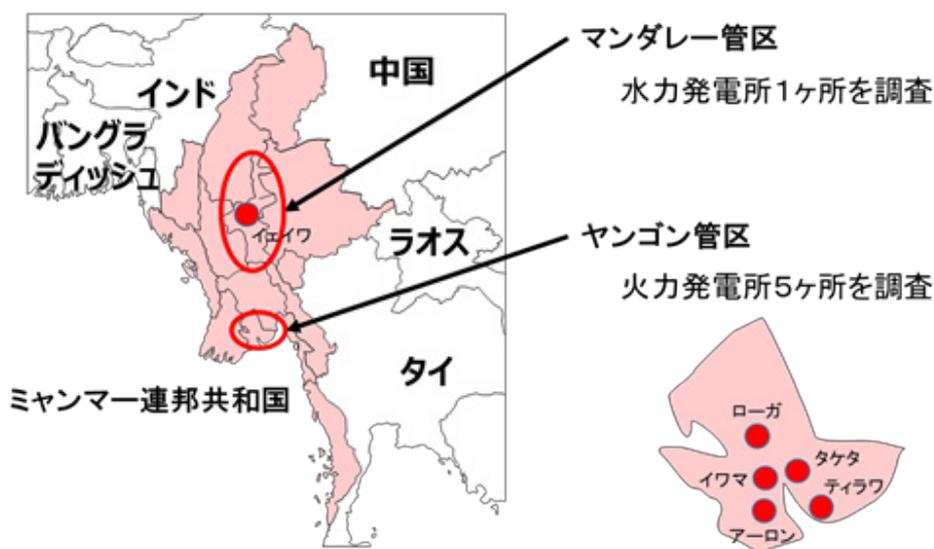
役割：〔関西電力〕

プロジェクト全体統括、発電所の運営および発電設備（電気・制御）に関する調査・技術提案の作成

〔MHPS〕

発電設備（機械）および遠隔モニタリングに関する調査・技術提案の作成
（MHPSのデジタルソリューション「MHPS-TOMONI®」のトライアル導入と検証）

位置関係：



【関係各社の概要】

◇関西電力株式会社

代表者：取締役社長 岩根 茂樹

設立：1951年5月

所在地：大阪府大阪市北区中之島3-6-16

事業内容：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業 等

◇三菱日立パワーシステムズ株式会社

代表者：取締役社長 安藤 健司

設立：2014年2月

所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-1

事業内容：火力発電システム設備および付帯装置類の開発、設計、製造、販売、据付ならびに保守業務 等